

# 窓

— 同窓会だより —

No. 102 (平成 28. 8. 13 発行)

富山県立魚津高等学校同窓会



昨年11月に6年ぶりの東京魚高会が盛大に開催され、初めての出席でありましたが、光栄にも閉会の挨拶をさせて頂きました。また、昨年8月には「鉄道インフラの現状と今後」と題して、出身地であります滑川市主催の「ふるさと市民大学」で講演の機会がございました。その内容の一部について紹介させて頂きます。

まず鉄道インフラの代表である新幹線は、昨年3月の北陸新幹線の開業に引き続き、今年3月26日に北海道新幹線が開業しました。新幹線開業による各地域の経済効果が期待される



## 鉄道インフラと建設業

鉄建建設株式会社 取締役

大和

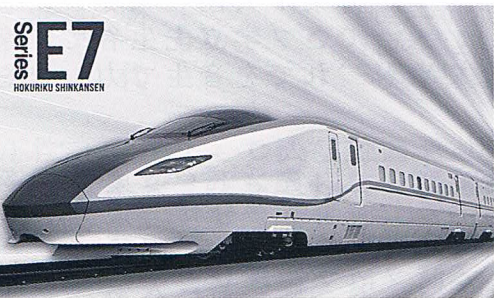
修二  
(魚高22回生)

北斗から小樽經由で札幌までの延伸を今後20年間で、九州新幹線西九州ルートが武雄温泉から長崎までを平成34年にそれぞれ開業が予定されています。工事には多額の費用がかかることから、地域の経済効果が期待される

すと、建設業のイメージは、土建屋、あるいは談合、また3K(きつい、きたない、危険)と、言われてきました。確かに、過去の建設業の一面を捉えては、いましたが、自然災害に対する防災、減災のための社会基盤の整備や、鉄道、道路及び上下水道などのライフラインの構築、また、公共施設や様々なビルを構築しているのが本来の建設業です。今後も、建設業は地震対策、東京オリンピック関連の構造物やインフラ整備などのプロジェクト工事に大きく寄与するものと考えられます。

と、総合的な経済効果は80億円を超えると試算されています。また、北海道新幹線の開業においても総合的経済効果は1000億円を超えられると思われま

での延伸が予定され、東京・大阪間を1時間7分で結ぶというものです。公表されているのは、東京・名古屋間の路線のみで各県に一つずつ駅が出る



なる設備を作る、またインフラを維持・補修していくことが建設業の大きな役割ということになります。建設業に携わる者として、建設業の果たす役割を皆様方にご理解をいただければ幸いです。

おわりに、建設業の果たす役割について述べま



魚高会東京支部 新会長

ふるさとには 遠きにありて



升方 充 (魚高22回卒)

蜃窓(No.101)で紹介された第16回(平成27年度)魚高会東京支部総会で、新会長になりました。第22回生の升方です。蜃窓(No.99)の前田幸一君は同窓です。

私は小学校のころの夢であった国鉄マンとは少しずれましたが、土木工学科を出て日本道路公団に入社し、最初の勤務地である福岡を皮切りに、宮崎、東京、神奈川、長野、大阪、滋賀、北海道などを転々としながら、高速道路の建設・管理に携わってきました。残念ながら本人の希望にもかかわらず、北陸勤務はありませんでした。

ようやく落ち着き、勤務先も変わった昨今、東京では40年ほど前から2年に一度、22回生の仲間若魚会をやっており、ほぼ毎回参加するようになりました。

今回、魚高会東京支部が若返りを図るとのことで同期の美波節君が事務局を引き受けるので同期生でやろうじゃないかと話があり、漁郡司君(東京魚津会幹事長)、名古屋菊夫君、大和修二君、安原和幸君、曳田昌徳君、

吉丸はな子さん、柳沢志津子さん、浜屋俊雄君、松井久美子さん、金沢敏子さん、高橋富士子さんが事務局となり、21回生の新田川修さん、澤泉武さん、23回生の大田弘君にも参加いただき、東京支部を盛り立てていくことになりました。魚高会本部と連携をとりながら、少しでもふるさと魚津の母校が栄えるように一同とともにやっています。

出会い... 音楽への道



松倉利之 (魚高22回卒)

私が今打楽器奏者として活動しているのは、多くの方々との出会いがあったからだと思えます。音楽が好きで小学生の頃からピアノを習っていた私が中学へ進学する時に、ピアノ教師の高木晋作先生から吹奏楽部への入部を進められ、打楽器を担当することになりました。私の性格に打楽器が合っていたようで、魚津高校への進学が決まる頃にはすでに音楽の道に進もうと考えていた様に記憶しています。

ただ、過去に魚津高校から音大に進んだ例は無く、当時の教員にはアドヴァイスを頂ける方はいらっしゃいませんでした。その時に助けて頂いたのが私の



中学時代に音楽を担当した堤谷力恵先生です。国立音楽大学を卒業された方で、

ご自身のつてを駆使して当時NHK交響楽団のティンパニ奏者だった有賀誠門先生を紹介して下さいました。

高3になる前の春休みから週末を利用して、東京に月1でレッスンに通うようになりました。土曜日に夜行列車(ボックス席)で魚津を発ち、日曜日は午前中に聴音のレッスンを、午後からは小太鼓のレッスンを受けて、夕方の夜行で上野を立ちます。月曜日の早朝に魚津に着き、自宅で仮眠を取ってから登校して半分夢心地で授業を受けていました。放課後は校内の渡り廊下等で自作の練習台を使って基礎練習をしていたのを覚えています。

そして、音楽の講師でいらした茅原伊佐子先生には、特別にピアノと歌、そして聴音のレッスンをお願いし、音楽室でピアノの練習もさせて頂きました。

正に幸運がいくつも重なったと感じています。今後は、お世話になった方々への恩返しのため

もりで、音楽を志す後進の育成に努めたいと考えています。

「松倉利之プロフィール」

東京藝術大学音楽学部器楽科卒業、同大学院音楽研究科修士、在学中に安宅賞受賞。

1980年パリ国際現代音楽コンクール打楽器部門で第2位入賞(1位無し)。主に室内楽・室内オペラ・オーケストラの分野で演奏活動を行い、これまでにヨーロッパ各地、ヴェネツィラ等での演奏旅行や録音に参加している。

現在「パークカッショングループ72」、「東京シンフォニエッタ」のメンバー及び大分県立芸術文化短期大学教授、エリザベト音楽大学非常勤講師。

食堂が 復活します。



蜃窓館100での食堂営業が9月1日より再開されます。

P.T.A.が企画・運営し、石川製麵(株)が経営いたします。利用は在校生、その保護者、職員その他に、同窓生の方々も利用可能です。

お近くに来られた際は是非ご利用ください!





# あれから22年こんな毎日です

〔今年度幹事学年(47回生)より〕

## 「魚津高校」を

### 1万回語った俺。



濱 西 伸 治  
(魚高47回卒)

仙台高等専門学校  
准教授

10年前より仙台高専の教員として、「生体機械工学」という分野の研究者として、剣道部の指導者として、魚津高校の現役生と同じ世代である学生たちと一緒に忙しくも充実した毎日を送っています。

毎年、東北の桜が満開となる頃、初対面で緊張している学生たちに、私は必ずこの質問から初回の講義を始めます。「君たちは：富山にある『魚津高校』という名前を聞いたことがありませんか？」赴任してからの10年間、手を上げてくれたのは、高校野球マニアを自負する学生一人だけでした。

1回の授業で「魚津高校」を

3回語れば、担当している週10科目の講義で計30回。これが年30週の講義期間中はずっと続くので、およそ1000回。このサイクルが10年間となれば、その数はざっと1万回にも及びます。週に1度語るだけだと192年間でやっていくことになるのです。

さて、このような私の教育を受けた学生たちはどうなるか？5年間の高専の教育課程を経て技術者として卒業する頃には、「富山」といえば鱒寿司でも黒四ダムでもなく、名門『魚津高校』という常識を身につけて、社会に巣立っていくわけです。

## 校風の追い風



若 林 健 嗣  
(魚高47回卒)

日本海電業株式会社  
専務取締役

在学中は、自分のことしか見えていませんでした。人づきあいや学ぶことの意味も見えず、そんな奴でもかまい、心配してくれる同級生や恩師に助けられながら3年を過ごしたのだと思

います。本当に勉強の大切さに気づいたのは近年になってからのこと。できるものなら文系と言い張り、物理や数学をないがしろにしたあの時の自分に懇々説教したい気持ちです。

あの頃の後悔を取り返すように、この歳になり様々な場で学び直していますが、目下関心があるのは、1つにはビジネス的な実学であり、もう1つは精神素養を積むものです。今は前者に傾倒していますが、その知識が広がるほど、後者に腰を入れ取り組む必要を感じるところです。そういう学び直しの機会でも、同窓生ということでも声をかけ、助言をくださる方が多くいて、校風の追い風を感じるところです。

いろいろなご縁や機会をいただいています。まだまだ本当に自分の力で成し遂げたと感じるものは少なく、これから勝負と思っております。この環境が激変する時代に適応できる人間になれるかと、自問自答する日々です。

## 魚津高校には名門をつけなさい

幅 朋 代  
(魚高47回卒)

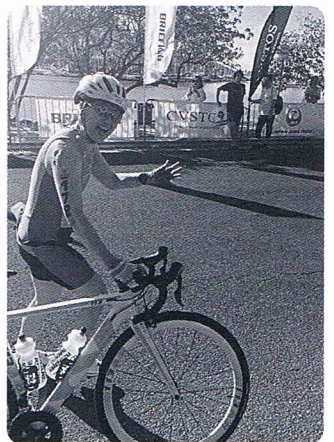
「魚津高校の前には名門を！」と諸先輩に言われてから、必ず名門魚津高校と話すようにして

いる大好きな母校。

さて、二〇数年前私は生徒会長。当時、白い靴下のみ着用可という校則を二重線、ワンポイントまで許可してほしいと、生徒会の仲間たちと、何度も何度も先生方と話し合い何とか許可を得た。今思えば白い靴下でいいじゃない？とも思う(笑)しかし、それが青春!!

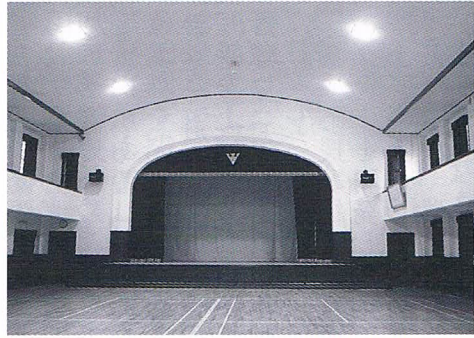
入学してすぐの、応援部による怖い怖い校歌指導。富山に生まれただからと、25m泳げるようになる実習。雪が降る県だから経験しようと、スキー合宿。衣装・看板まで手作りして挑んだ体育大会。全てが輝いた。支えて下さった先生・両親に感謝。そして、級友たちは今でも高校生気分で話せるかけがえのない親友となつている。

上京して20年になりますが、「名門！魚津高校生でよかったです!!」





## 講堂の新たなページが開かれた



現在の講堂の歴史は、旧講堂の移築工事に始まる。「明治44年に建てられた講堂兼雨天体操場は20年の歳月を経て老朽化が進み改築の必要に迫られていた。そこで昭和11年、これを移築して武道場とし、跡地に近代的な新講堂を建築することになった。昭和12年5月25日に新講堂及び武道場の落成披露式がとり行われ、当時の建築技術の粋を集めた大鉄骨コンクリート建築は新聞にも大々的に取り上げられたほどである。」(魚高100年史より抜粋)

その講堂が建築から約80年後の今年6月20日に耐震補強工事を完了し、リニューアルした姿を見せている。旧制魚津中学の面影を残す唯一の建物であり、予餞会、弁論大会、部活動等学校行事の中でも重要な場所として使われている講堂は、同窓生の記憶にも印象深く刻まれていることだろう。今回の工事では、ところどころ割れて黒瓦で補修されていた屋根瓦は赤色の瓦に一斉に葺き替えられた。また講堂内部の穴が見られた天井は全て張り替えられ、LED電灯が使用され白壁が一層引き立つようになった。無事工事が終えられたのも関係者による大変な労力のおかげである。というのも建築当時の図面が残っており、調査を重ね図面を書き上げてからようやく工事に取掛かるといった作業があったからだ。また、天井をめぐった際には天井裏から約80年分のホコリが舞い降りてきたという。今回の工事全体を通して「外側の柱にある陶器の装飾や、腰壁がある建造物はこれまでの工事でも出会ったことが少ない貴重なものであり、それ故に工事中は傷をつけまいよう慎重な作業が求められた。」と関係者は振り返った。

リニューアルされた講堂が建築当時の姿を残しつつ進化を遂げるように、魚津高校卒業生も限りなく飛躍されることを願っている。



## 魚高生の活躍

(平成28年4月～7月)

## ◆水泳部

第69回富山県高等学校選手権水泳競技大会

★女子400メートルリレー 3位

中山愛美 村井美翔 小鍋睦実 川越梨乃

・競泳女子総合 3位

## ◆陸上競技部

第69回富山県高等学校陸上競技対抗選手権大会

★女子400mハードル 1位 滝川 絢香

★女子400m 2位 滝川 絢香

★男子三段跳 4位 生駒 克登

第55回北信越高等学校陸上競技対抗選手権大会

◎女子400メートル 4位 滝川 絢香

## ◆柔道部

第65回富山県高等学校柔道選手権大会

★男子個人66kg級 3位 松井 建樹

## ◆放送部

第55回富山県高校放送コンテスト

・ラジオドキュメント部門 優良賞「大人こども」

・朗読部門「流れ星が消えないうちに」

優良賞 竹田沙紀 優良賞 摺田真幸

## ◆将棋部

第52回全国高等学校将棋選手権大会 富山県大会

○女子個人戦 準優勝 澤井 彩乃

## ◆ダンス同好会

全国高等学校ダンスドリル選手権大会2016

○HIPHOP男子部門

◎インターハイ出場 ○全国大会出場 ★北信越大会出場

## 第40回全国高等学校総合文化祭

広島大会出場

将棋部・美術部・新聞部・吟詠剣詩舞

富山県立魚津高等学校同窓会

〒937-0041 富山県魚津市吉島945番地

TEL (0765) 22-0221

FAX (0765) 22-9970

同窓会ホームページ

<http://www.nice.tv.jp/~gyokou/index.html>

魚津高校ホームページ

<http://www.uozu-h.tym.ed.jp/>

## 原稿募集のお願い

本校同窓生で「こんな方を知っている」「こんな方が活躍している」という方はいませんか？自薦・他薦は問いません。原稿をお寄せ下さる方募集しています。